

1 研究主題

自ら学び いきいきと取り組む書写学習

—— 書く楽しさや喜びを味わい 発見のある学習をめざして ——

2 研究主題について

(1)「自ら学び」とは

児童一人一人が、自分の文字から課題を把握し、その課題に沿った自分のめあてを設定する。そして、創意・工夫・努力し、自分なりの解決方法を選択しながら、主体的に取り組んでいく姿勢をとらえる。つまり、児童自身が、自分なりの「学びのステップ」を試行錯誤しながら繰り返し、教師の支援を参考にしながら学び方を模索する過程で、自ら学ぶ力が養われ、より書く活動の充実が図られると考える。

(2)「いきいきと取り組む」とは

「書写の学習は、おもしろい。」「書写をもっとやりたい。」と、一人一人の子どもたちが、目を輝かせて取り組む姿と考える。書写の時間が好きになったり、学習意欲が高まったりするためには、興味・関心のもてる授業づくりを工夫することが必要である。特に、低学年では、楽しさやおもしろさを感じることができる活動を、多く取り入れることが大切であると考え。さらに、学年が進めば、粘り強く練習した結果、自分の作品に自信がもてたり、達成感が味わえたりする取り組みも重視していきたい。

本校では、以上のような取り組みを通して、「書くことが好き。」「書くことが好きになった。」と言える子どもを育成していきたいと考えている。

(3)「書く楽しさや喜びを味わい」とは

書写の学習過程の中で、自分のめあてをしっかりと持ち、めあて達成のために進んで練習するという主体的な活動は、「文字を書く」楽しさにつながってくる。そして、自分の活動や作品をふり返り「うまく書けた。」と実感できた時に、楽しさも増してくる。また、自分の書いた作品を評価してくれる人がいるということは、相

手を意識して取り組む姿勢を作っていく上でも、とても大切なことと考える。自分の思いやがんばりを友だちや先生、かかわりのある人から認めてもらうという経験を積み重ねていくことを通して、「文字を書く」喜びを味わうことができると考える。さらに、各教科や行事との関連をもった作品に取り組み、作品を通していろいろな人とかかわっていく活動は、達成感や満足感が味わえることであり、温かいつながりは、心をうれしく豊かにしてくれるものと考え。

(4)「発見のある学習」とは

書写学習の中でも、基礎基本の力を確実に定着させていくことは、とても大切なことである。例えば、字形や筆づかい、用具など、上達のために必要な技能や知識面での気づきも発見である。また、大きく書く、いろいろな素材に書く、書く用具を代えて書くなどさまざまな活動を取り入れることは、「文字を書く」新たなおもしろさの発見につながっていく。

さらに、授業の中では、自分の活動をふり返ったり、友だちのがんばりに気づいたりする場を設定するようにし、お互いのよさが発見できる授業展開の工夫も必要であると考え。そこでは、お互いの作品を見合う楽しさにも気づくことであろう。また、書写の授業だけでなく、生活科や総合的な学習の時間、他教科との関連をもった単元を設定することにより、生活に書写で培った力を生かし、生活を豊かにしていくことができると考える。書写で培った力を生活に生かしていくことができると気づいた姿勢は、自分の日常生活まで広がっていくものと期待している。

本校では、以上のようなさまざまな発見ができる目を、小学校の段階で培い、より育てていきたいと考えている。

3 主題設定の理由

(1) 社会の要請から

平成14年度から完全実施された新学習指導要領は、知識を教え込むことに偏りがちだった教育から、基礎基本の確実な定着を図り、自ら学び自ら考える力となる「生きる力」を育む教育への転換であった。新学習指導要領には、「基礎的、基本的な内容の確実な定着を図るために、2年間を見通した計画的指導」「学習課題や活動の選択」などが指導の在り方としてあげられている。書写学習においても生活

への応用力（生きる力）を育てるために、手本文字をどのように書かせるのかに学習の重点を置くのではなく、子ども自らが手本文字から自己の課題を設定し、友だちとのかかわりの中で、どのように主体的に学び、表現するかという問題解決型の学習に取り組む必要がある。このような学習を通してこそ、主体的な発見があり、生きてはたらく書写学習が展開されると考える。

（２）学校教育目標から

本校では、学校教育目標を「ゆめをもち いきいきと生きる子どもを育てる」と設定し、「考える子ども（人にたよらず、自分で考え解決しようとする姿）」「行動する子ども（物事を進んで行おうとする姿）」「思いやりのある子ども（人に対して思いやりのあるやさしい姿）」をめざす子ども像として具現化に努めている。

書写学習においても、自分の課題解決に向かって、工夫して練習に励む姿勢や最後までねばり強く取り組む気力、友だちと励まし合い認め合いながら向上していこうとする気持ちなどは、学習の基盤となる大切なものである。書写学習全般を具現化の場ととらえ、めざす子ども像に迫りたいと考える。

（３）児童の実態から

喬松小学校区は、豊かな自然にめぐまれ、岩屋城や坪井陣屋跡など出雲街道の宿場町として、昔から栄えた歴史をもっている。津山市に隣接し学区の東西を走る国道１８１号線は、朝夕ともなると非常に交通量が多く、児童たちは、安全に気を付けながら登下校している。現在、全校児童は４６人と次第に減少してきているものの、保護者は協力的で、学習やスポーツに意欲的に取り組むことができている。

こんな児童を取りまく文字環境は、都市部と同様に多様で、雑誌・テレビ・パソコンなど、様々な文字に出合う機会に恵まれている。しかし、一方で自分で文字を書く機会が少なくなっており、文字を正しくていねいに書くことができているとはいききれない。鉛筆を正しく持つことができない児童、姿勢のくずれやすい児童、丸文字・漫画文字を学習場面で使う児童など、気になるところである。

そこで、昨年度９月に児童の実態調査を試みた。一例として、児童の書写学習に対する意識について、述べてみたい。全体の９２％が上手になりたいと思っているにもかかわらず、丁寧に書いていると思っているのは、全体の６６％にとどまっている。さらに、姿勢に気をつけて書いていると答えた児童は、全体の１６％であった。また、自分が思っているように書けないので、書写の時間は、あまり好きでは

ないし楽しくないという意見も聞かれた。

このような実態をふまえ、学年の発達段階に応じた基礎・基本的事項の定着を図り、児童一人一人が文字を書くことの楽しさや達成感のもてる授業展開の工夫をしたいと考える。また、文字環境を整備し、自分の思いのままに自由に表現できる手書き文字のよさや伝統的な文字の気品に気づくようにし、美しい文字への文字感覚を養えるように配慮しながら、研究主題に迫りたいと考える。

４ 研究仮説

児童一人一人が、自分の課題を見つけ、課題に沿っためあてをつかみ、解決の方法を工夫してすすめるように支援すれば、自ら進んで書写学習に取り組める児童が育つであろう。様々な興味ある活動を工夫して取り入れていくならば、学習意欲も増し、新たな発見のある学習となるであろう。

５ 研究の内容

（１）基礎基本の重視

- ・書写の基本技術や姿勢の定着
- ・教材や教具の研究

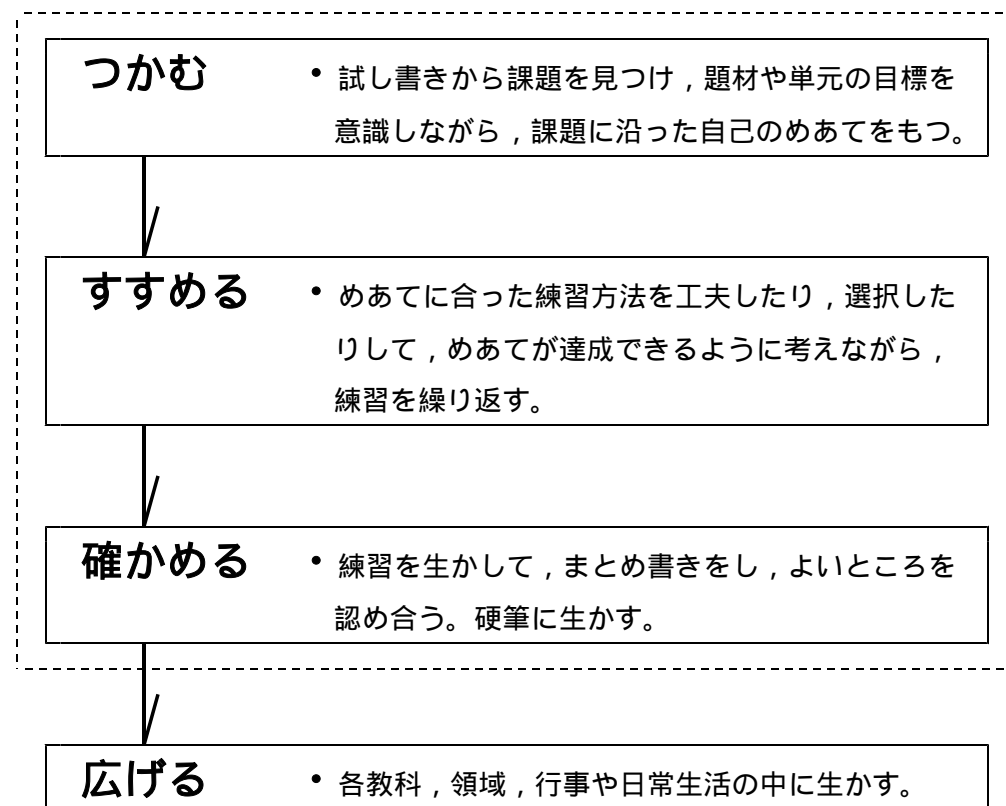
（２）学習過程の工夫

- ・自分の課題を見つけ、めあてをつかむ力の育成
- ・めあてに合ったすすめ方の工夫
- ・お互いの伸びが発見できる確かめ方と評価

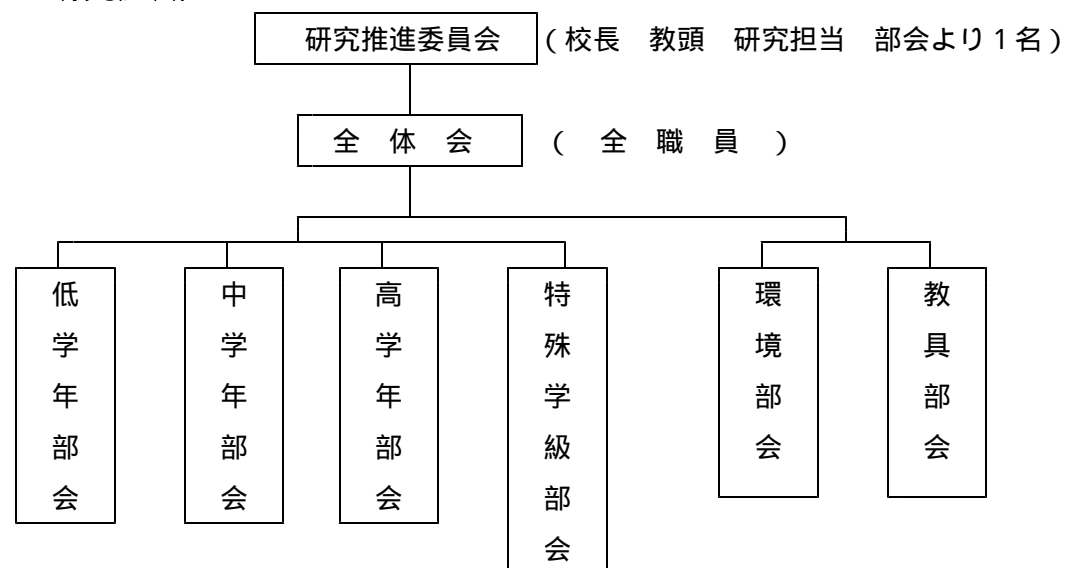
３）生活を豊かにする書写学習

- ・書写で学んだことを学校生活に生かす環境整備
- ・各教科、領域、行事等との関連を図る書写学習

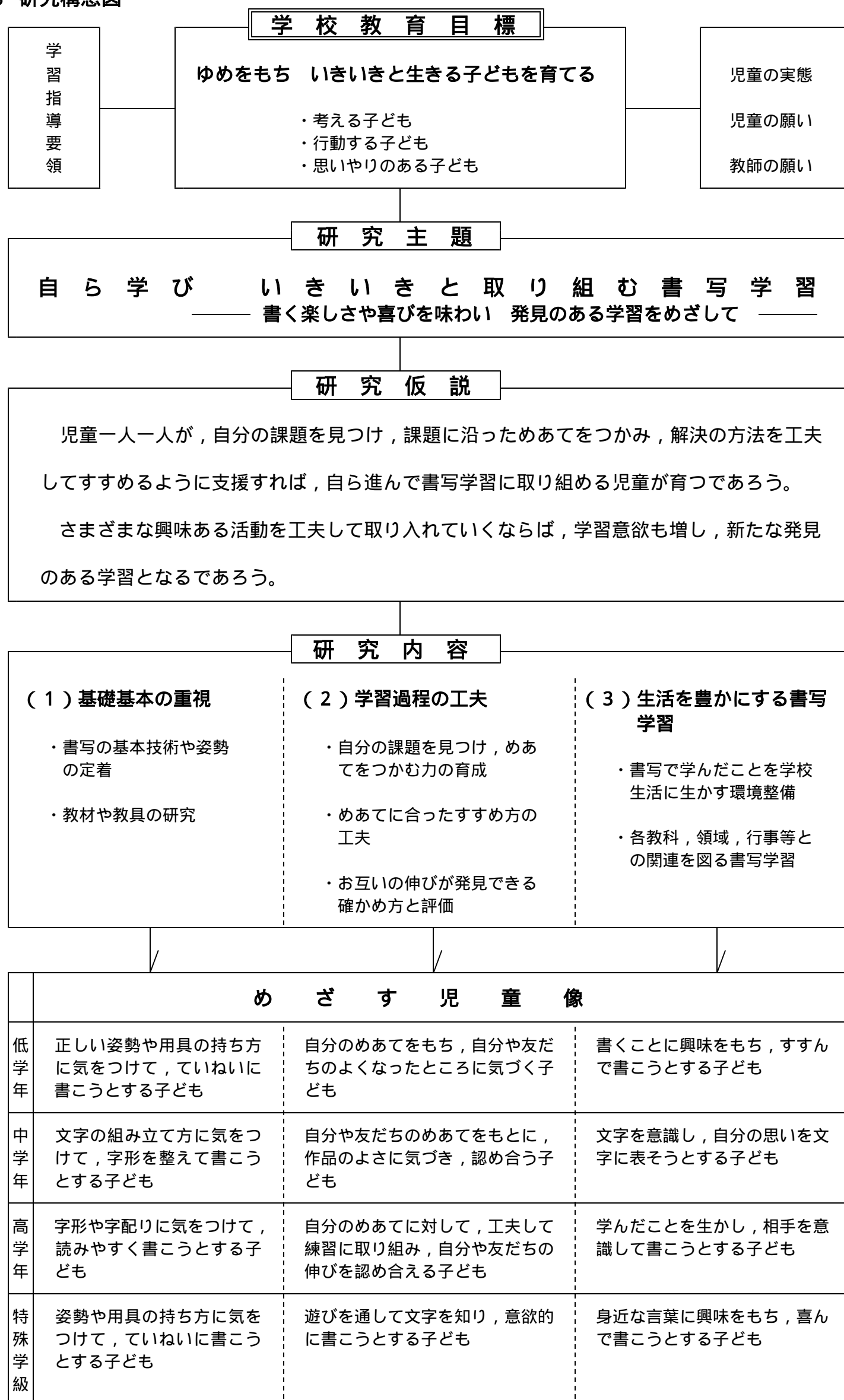
6 学習過程



7 研究組織



8 研究構想図



9 研究経過

実施月日	研 究 内 容
平成15年度	
平成15年	
7月25日	先進地視察 香川県小教研書写部会夏季研修会 4名
8月6日	先進校視察 倉敷市立玉島小学校 3名
8月7日	全体研修 講話 講師：平木雅人先生
8月25日	全体研修 パソコンソフト「スクールナビ」実技研修
8月28日	研究推進委員会 児童の実態調査項目について
8月29日	全体研修 玉島小研究会 ビデオ視聴感想交流
9月8日	全体研修 実態調査考察
10月6日	全体研修 講話 講師：中西 淑先生
10月16日	全体研修 研究主題，研究発表会期日決定
11月10日	全体研修 サブテーマ，研究組織，研究仮説，研究内容検討
12月25日	全体研修 毛筆実技 講師：中西 淑先生
平成16年	
1月15日	全体研修 指導案形式，学習過程等検討
2月3日	全体研修 書写年間指導計画形式検討
2月9日	部会研修 指導案検討
2月15日	全体研修 指導案検討
2月19日	全体研修 指導案決定
2月26日	授業研究 1年 単元：手がみをかこう 5年 題材：筆順と中心「出発」 指導助言者：港 高明先生
3月8日	全体研修 本年度のまとめ，研究大会公開授業について検討
平成16年度	
4月7日	全体研修 1学期研究授業について検討
4月12日	全体研修 1学期研究授業の日時，内容について検討
4月19日	研究推進委員会 全体研修書写環境整備について検討
4月21日	全体研修 研究の内容について再検討，部会の代表者決定
5月10日	部会研修 研究内容・書写年間指導計画について検討
5月12日	部会研修 指導案，目指す子ども像について検討
5月17日	全体研修 指導案検討
5月20日	授業研究 2年 題材：形と書きじゅん 特殊学級 単元：いろいろな文字

	指導助言者：猪川 眞有先生
5月24日	全体研修 指導案検討
6月1日	授業研究 1年 題材：ひらがなのおりかえし 4年 題材：文字の組み立て方「林」 指導助言者：平木 雅人先生
6月7日	部会研修 教材・教具研究，指導案検討
6月8日	研究推進委員会 今後の研究推進の方針について
6月9日	全体研修 めざす子ども像について再検討
6月14日	全体研修 指導案検討
6月16日	全体研修 指導案決定
6月23日	授業研究 特殊学級 単元：みづかなことば 6年 単元：海の学習の思い出 指導助言者：高橋 三穂先生
6月28日	部会研究 指導案検討
6月29日	研究推進委員会 夏季休業中の研修について
6月30日	全体研修 指導案検討
7月8日	授業研究 3年 題材：かたかなの曲がりとおれ 5年 単元：生活に生かして読みやすく書こう —— 夏休みポスター —— 指導助言者：柳澤 紀子先生
7月12日	全体研修 研究紀要形式，大会の公開授業内容の検討
7月22日	全体研修 今までの成果と課題について協議
7月23日	部会研修 部会の取り組みのまとめ
7月27日	部会研修 部会の取り組み原稿作成
7月29日	先進地視察 香川県小教研書写部会夏季研修会 5名
7月30日	全体研修 部会原稿検討
8月4日	全体研修 修正原稿検討
8月23日	全体研修 全体会場の準備について検討
8月27日	全体研修 紀要原稿完了
9月	研究推進委員会 研究発表会に向けて
9月	部会研修 公開授業教材研究，指導案検討
10月	全体研修 指導案決定，研究大会要項作成完了
10月	研究推進委員会 全体発表原稿検討，作成・発表準備
10月	部会研修 授業準備
11月11日	第36回 岡山県書写教育研究大会